



原小だより

～つよく 正しく 朗らかに～

6月号
令和6年(2024年)
5月28日
宇部市立原小学校



縦割り班で育てる原っ子の「自立・自律・おもしろいやり」

今年度も原小学校では縦割り班の活動を計画的に行っています。児童が自分たちで様々な活動を考え、運営することで「自立」の力をつけてほしいと考えています。また、他学年の児童と関わり教えあうこと、高学年に憧れをもちながら自分力を伸ばしていくことを通して「自律・おもしろいやり」の力が育っていくと思います。盛りだくさんの5月行事の中から、一部を紹介します。

原「1年生を迎える会」

1年生を迎える会は、1年生にとっては初めての縦割り班での活動となりました。「この会の準備をいつしたと思いますか?」「正解は2月です!」と言うと低学年を中心に「え～」と驚きの声があがりました。2月から運営委員会や代表委員会で1年生が喜ぶゲーム、学校生活がわかる内容、縦割り班みんなで楽しく取り組める企画を考え、すべて児童のアイディアや話し合いで決めていきました。

1年生と一緒に歌える歌や恒例のエビカニクスのダンス、縦割り班みんなで作ったプレゼントなどで不安そうだった1年生もにっこり笑顔になりました。準備をした上級生は、最後の校歌で、児童の声が一つになり、この会が大成功だったことを実感し、達成感や自信をもったはずです。「自立・自律」の第1歩となりました。



原縦割り班清掃

清掃も縦割り班で行っています。ほうきの使い方やぞうきんの使い方を上級生が優しく教えてくれています。また、時間いっぱいまで、他に汚れているところはないか、窓やたなも拭こうなど、自分で仕事を見つけます。清掃の終わりは班での反省会です。「〇〇さんが時間より早く来ていたのでまねをしようと思います。」「ゴミをとろうとしたら〇〇さんがちりとりを取ってきてくれて助かりました。」「一度拭いたところをもう一度仕上げに拭いているので床がもっときれいになりました。」「〇〇さんが静かにやっていたので素晴らしいです。」最近自分が頑張ったところだけでなく、他の人の行動に目を向けるコメントも増えています。何をしてくれた時に嬉しかったのかを感じ取ることが、他者への「おもしろいやり」にもつながっていくはずです。



原「運動会」の縦割り班種目

運動会で縦割り班の初めての取組を二つ行いました。まず一つ目は縦割り班種目の玉入れです。6年生を中心に、低学年でも取り組めて安全な競技ということで、話し合いを重ねました。1年生には6年生が玉を拾って渡してあげるなどのルールも自分たちでしっかりと考え実施しました。

二つ目は、児童席に縦割り班で座って応援することです。他の学年が走っている時にも「頑張れ～」と手をたたきながら応援している姿がずっと見られ、温かな雰囲気のある運動会となりました。



また、保護者の皆様も暑い中、入れ替わりの応援へのご協力、そして、温かいご声援ありがとうございました。また、前日からのPTA執行部、保体部の皆様の準備、当日の片付けでは委員さん以外のたくさんの保護者の方が、快く手伝っていただき、テントや椅子、用具など、驚くほどのスピードで終わることができました。深く感謝申し上げます。